

# 年頭に あたって



## 本格的グローバル社会到来に向けて

下條村長 伊藤 喜平



明けましておめでとうございませう。希望に満ちた新春を迎え、皆様方の御健康と御多幸をお祈りいたします。

さて、過ぎ去った昨年をふり返る時、ヨーロッパに起因する不況の中、当然我が国にも影響を受け、加えて政局の混乱等苦勞された年でした。反面、ロンドンオリンピックでは、史上最多のメダル獲得、続いて行われた「パラリンピック」では、身体に重い障害のある選手が、そのハンディを克服し極限まで頑張っている姿に我々の方が勇気づけられました。

又、京都大学山中教授のiPS細胞についてのノーベル賞受賞等々、又忘れてはならない事として厳しい冬の寒さの中で、仮設住宅で、放射能の危機にさらされて生活している同胞の方々、一日も早い復興を願うのみです。

又政局では三年三ヶ月続いた民主党が内部分裂の末、十二月に自爆解散、安倍政権に交代しました。危機管理内閣と銘打って、行きすぎた円高問題は正等、経済活性化を第一に掲げ取組が始まりました。早速株価も良い意味で反応して来ています。

マクロ的に見れば、我が国が抱える膨大な債務、原子力発電エネルギー問題等前途には厚い壁が立ち、ただかっけています。こうした時、私達は唯、傍観しているのではなく、我が国の危機的状況をいかに打破し、次世代に申し送るには、どの様な前向きな

努力を成すべきか、責任ある国民の立場で行動すべき時と考えます。当下條村については、皆様の常に変わらぬご協力に依り、順調に推移してまいります。

今行政で一番の関心事である財政の健全度指数が三年連続全国で第四位となり、こうした実績を基に、皆様方の生活コストの低下に積極的に取組んで参ります。

待望久しいリニアも秋には環境アセスが終了し、工事に着工となります。紙面の都合上省きますが三遠南信道・天竜公園阿智線・粒良脇トンネル等々の社会資本整備も積極的に進展させて参ります。

皆様方が更に夢と希望のもてる地域づくりに、議会・職員共々全力で頑張ることをお誓い申し上げます。

## さらに住みよい下條村

下條村議会議長 宮嶋 清伸



新年あけましておめでとうございます。

平成二十五年の輝かしい新春を迎え、村民の皆様を代表して謹んで年頭のあいさつを申し上げます。また、日頃は議会活動に対し暖かいご支援とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

さて、昨年七月の村長選では村民総意をもって伊藤村長の六期目がスタートしました、この事は将来の下條村の為、また南信州のリーダーとして中央リニア新幹線駅までのインフラ整備、三遠南信自動車道路の早期開通、山積する諸問

題についての活躍を期待するものであります。

また、十二月十六日投票の衆議院選挙では十二の政党と小選挙区・比例合わせて一五〇四人と過去最多の乱立した選挙となりましたが、結果はご存じの通り自民党・公明党合わせて三二五議席を獲得し、衆院再可決できる三分の二を確保しました。この事は重大な事で日本の進むべき方向性を間違わない様に舵取りをしっかりと頂いて頂き、住民が安心して生活できる国づくりに期待します。

国、県においては依然として厳しい財政状況下であり、国の借金が一千兆円を突破しました。そんな中、高度成長期に建設されたインフラの老朽化対策が急務となり、今後ますます住民の生活コストが増すと予想されますが、下條村では伊藤村長の長年の行政手腕により七五歳以上の高齢者の医療費自

己負担分の半額補助、七〇歳から七四歳までの高齢者の医療費自己負担分の三〇％村補助、住宅のリフォーム・耐震工事、若者定住促進として新・増改築の補助など幅広い対策を継続すると共に、新たに住民の皆様を支援する施策に取り組み、さらに住みよい下條村をめざしてまいります。

議会も、行政のチェック機能だけでなく、十名が一丸となり様々な提案を行う中、勉強会をはじめ各種研修会に積極的に参加して議員の資質向上に取り組みで参ります。

本年が皆様にとって平穏で実り多い年でありますようお願いして、年頭のあいさつといたします。